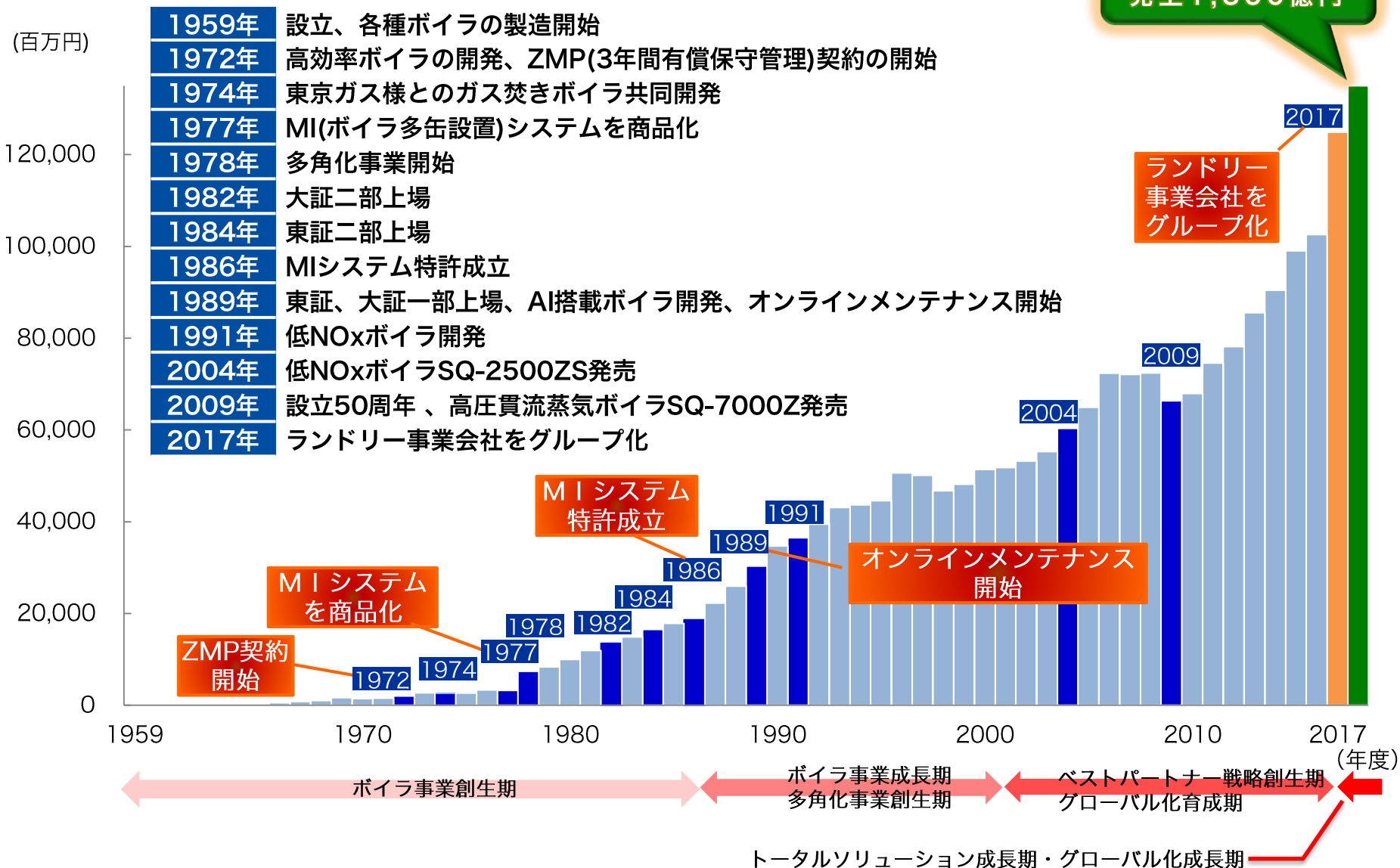


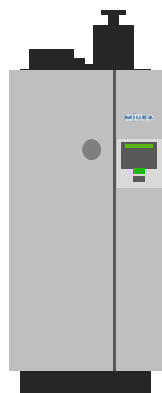
7. 参考資料



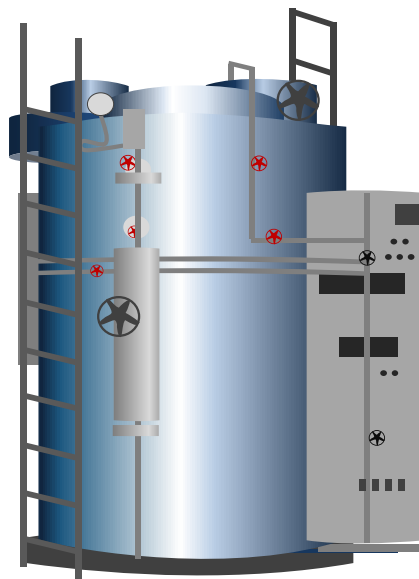
業績の推移、沿革



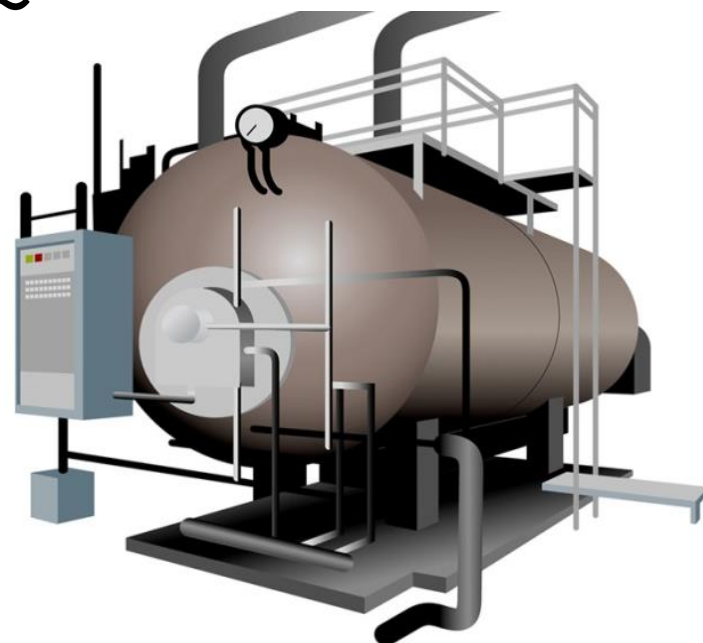
| ボイラの種類 ～ 同容量のボイラ比較 ～



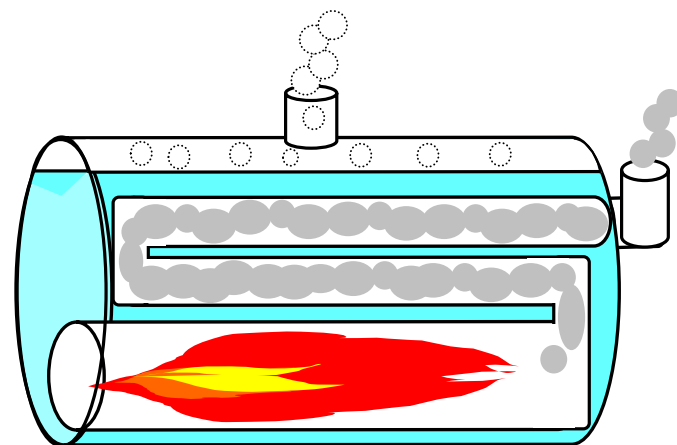
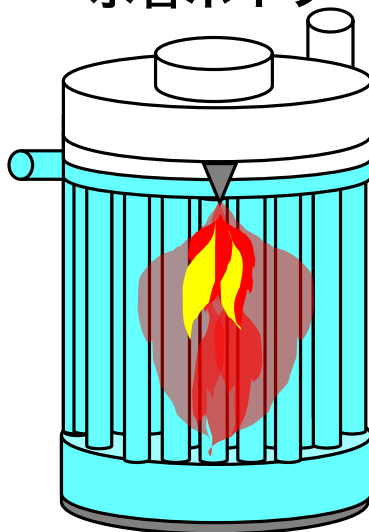
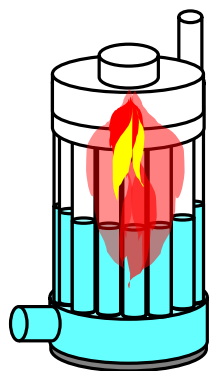
貫流ボイラ




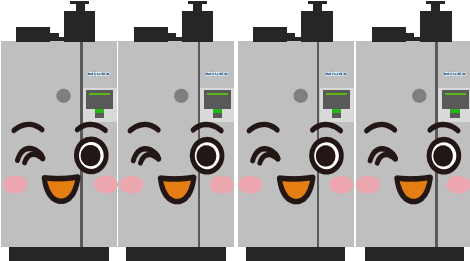
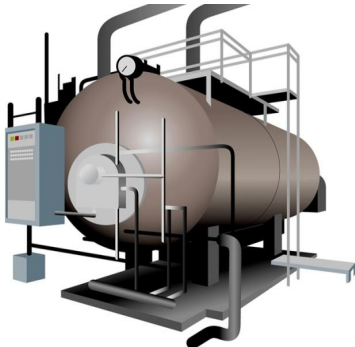

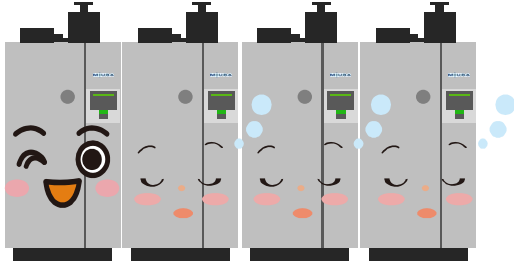
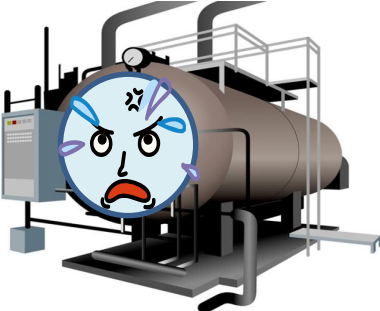
水管ボイラ



炉筒煙管ボイラ



小さなボイラのメリット

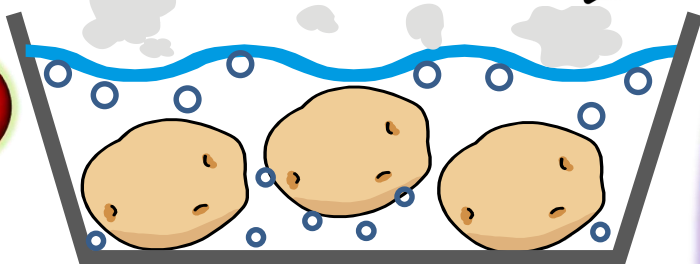
	ビルの状況	小さなボイラの並列 (M I システム)	大きなボイラ
日中は負荷 高		 <p>貫流ボイラ</p>	 <p>炉筒煙管ボイラ</p>
夜間は負荷 低		 <p>必要な負荷分だけ稼動 ◎効率が良い</p>	 <p>負荷に関係なく稼動 ×効率が悪い</p>

ミウラのMIシステム (Multiple Installation system) とは
必要時に必要なだけの蒸気量を供給し、エネルギーコスト低減やCO₂、
 NOx等の排出量削減に繋げる

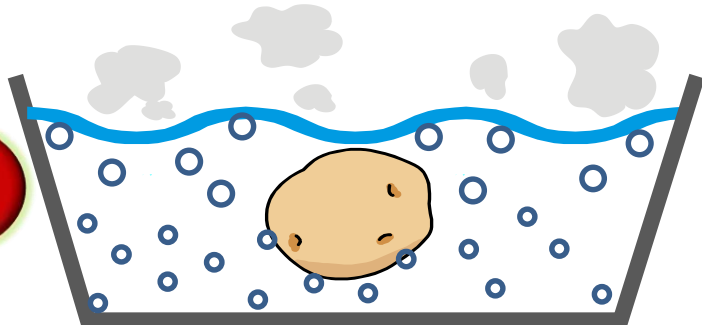
大きなボイラ1台



3個



1個

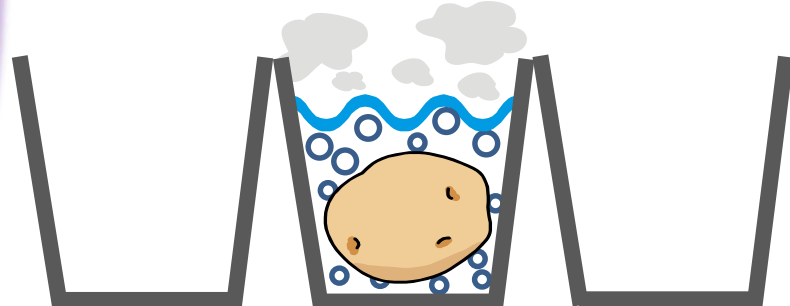
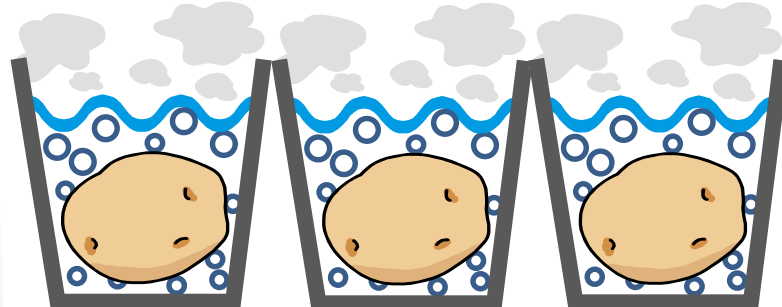
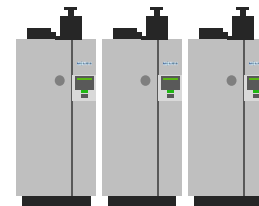


ポテトが減ってもお湯の量は減らない

省エネ化

省スペース化

小さなボイラを複数台



ポテトが減ればお湯の量は少なくなる

省力化

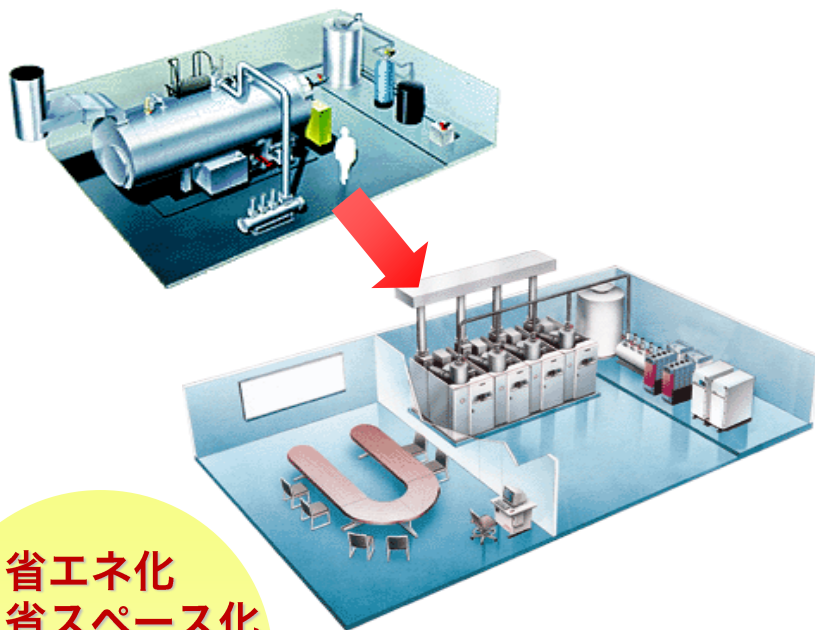
低公害化

なぜMIシステムは
 効率的呢のか？

1986年 ボイラ多缶設置 (MI) システム特許成立

MIシステム (Multiple Installation system) とは

小型貫流ボイラの特徴を活かした画期的な省エネルギーシステム



- 省エネ化
- 省スペース化
- 省力化
- 低公害化



必要な時に必要なだけの蒸気量を供給し、エネルギーコストの低減やCO₂、NO_x等の排出量削減に繋げる

ZMP 契約とは？

契約期間

3年毎に契約更新

5期15年

契約内容

3回/年の点検
交換部品無償

突発故障対応
交換部品無償



異常の察知

故障原因の
事前把握

お客様の
安全安心

早期復旧

水分析



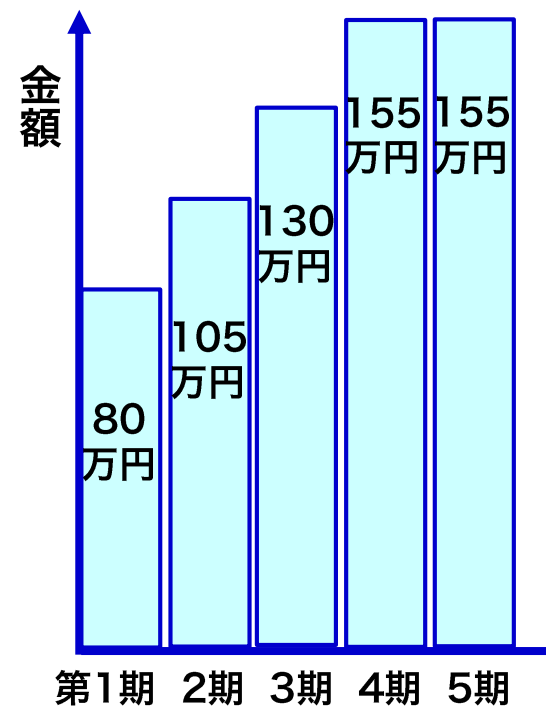
オンラインメンテナンス



契約金額

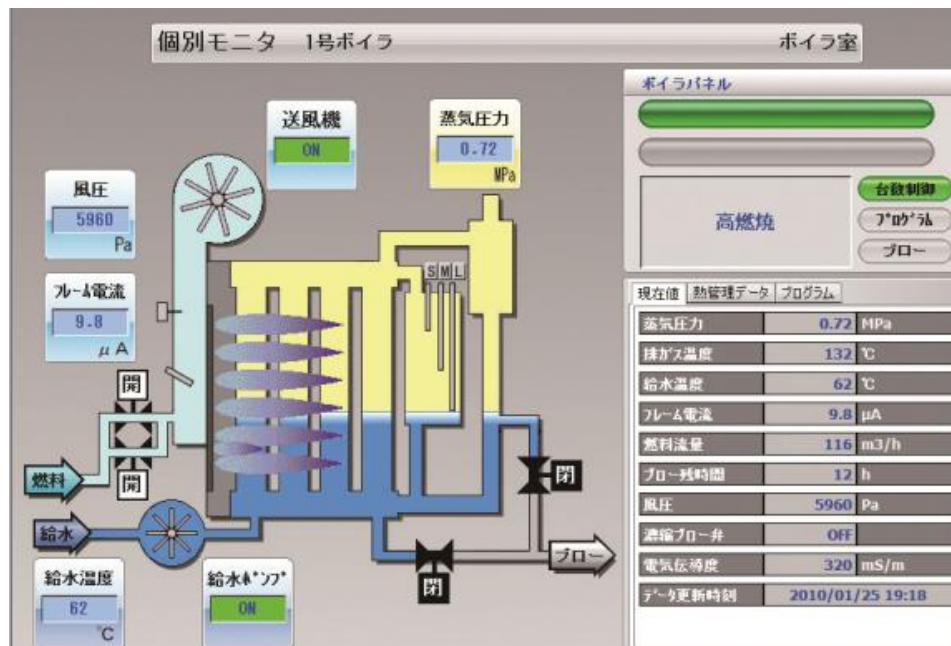
例) SQ-2000ASの場合
(本体価格1,388万円)

ZMP契約合計 620万円



オンラインメンテナンス

29年前から「IoT」を活用したハイテクサービスで高い収益性を維持



監視

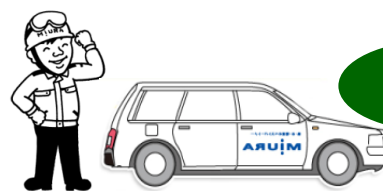
ユーザー

対処方法を電話連絡
(データ収集・解析)

オンライン管理缶数
60,118台
※ボイラ以外の機器も含む
(2018年4月末現在)



遠隔監視で状況確認



出向

現場に行かない

故障の原因がわかる

事前準備出来る

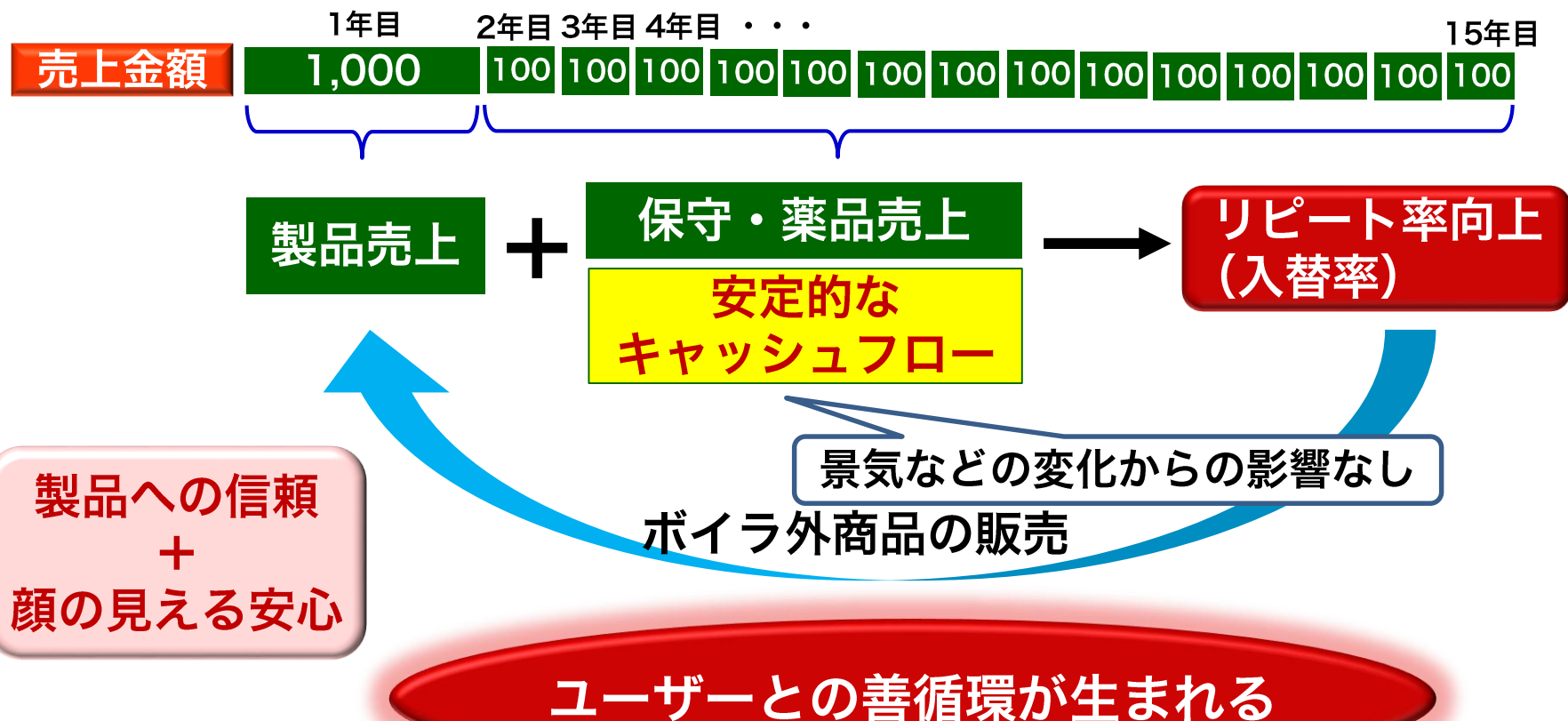
早期回復

1人当りの管理缶数の増加、効率的メンテ、
メンテナンス員を3K (危険・汚い・きつい) から解放

ボイラのライフサイクルとミウラのビジネスモデル

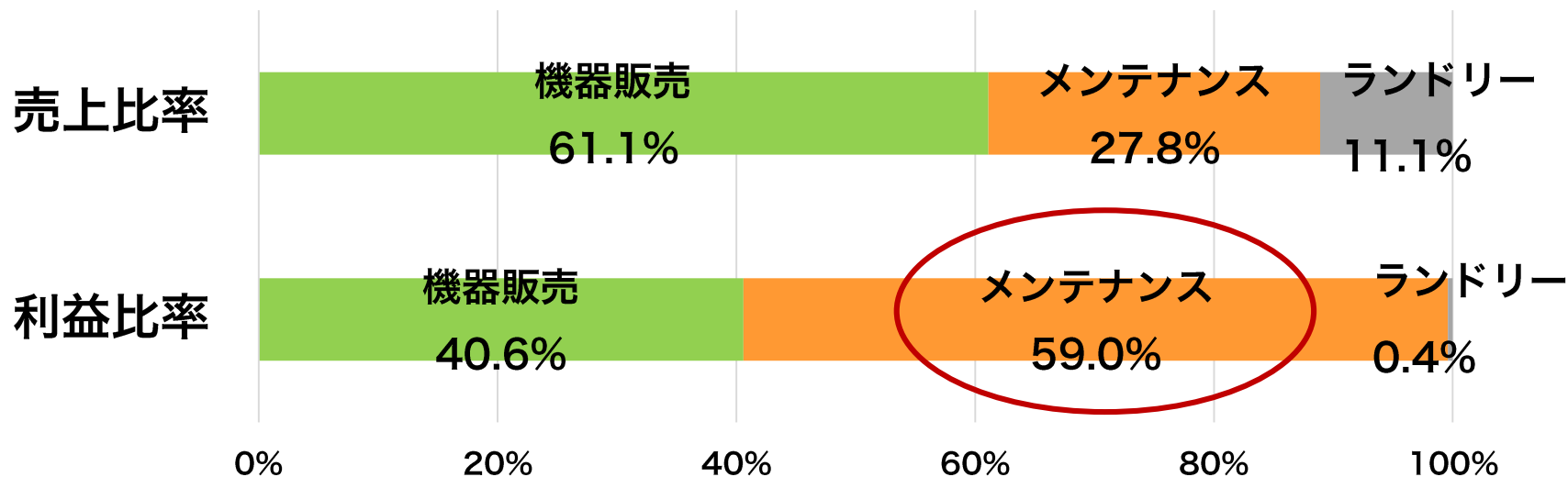
製品の売切ではなく、納品後の保守売上、消耗品売上が継続する

ボイラの寿命を15年とした場合



利益率の高いメンテナンス事業

*2018年3月期 ミウラグループ全体



ミウラメンテナンス ネットワーク

拠点数

約100ヶ所

サービスエンジニア

約1,100名



中長期的な経営戦略

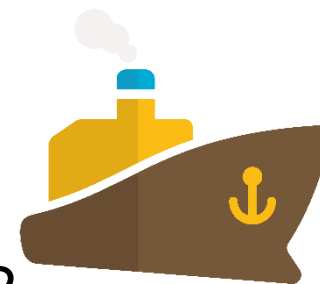
国内戦略

① トータルソリューション

- ・ ミウラの製品で、工場全体のエネルギー効率の向上を図り、オールミウラのワンストップメンテナンスを実現する

② バラスト水処理装置

- ・ USCGの型式認証取得
- ・ ボイラで培った技術力、メンテナンス力、お客様との信頼関係を活かし、優位に立つ



海外戦略

① 日本ビジネスモデルの水平展開

- ・ M I システムのメリットを省エネ提案する
- ・ 納入実績を重ね、ミウラボイラの世界展開をはかる

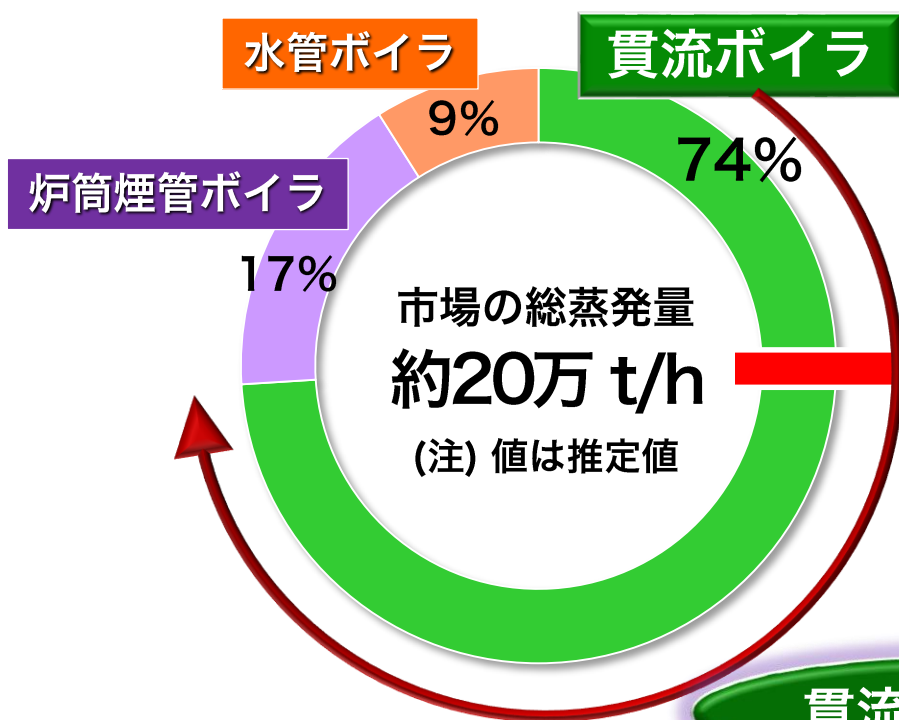


② 中国の石炭焼きボイラの入替

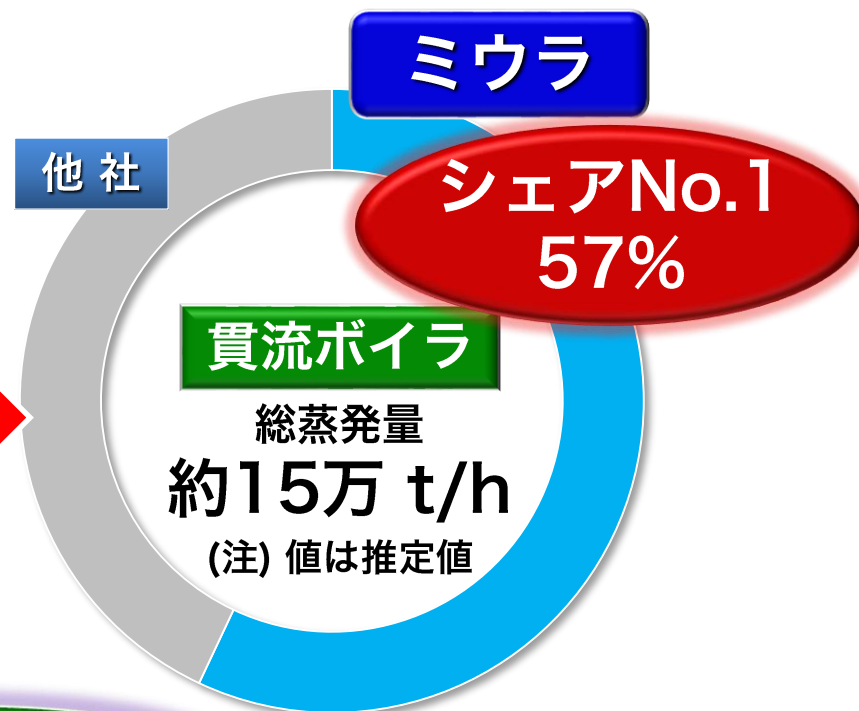
- ・ 中国の大気汚染の深刻化により、石炭からガス化へ法的規制が強化された。法的な要求にこたえるために、日本で培われたガス焼きボイラの技術を導入する
- ・ 日本と同様のメンテナンスを提供するために、拠点展開をはかる

国内の業界シェア *発電用を除く・2017年9月自社調べ

国内のボイラ市場



国内の貫流ボイラ市場



主な競合メーカー

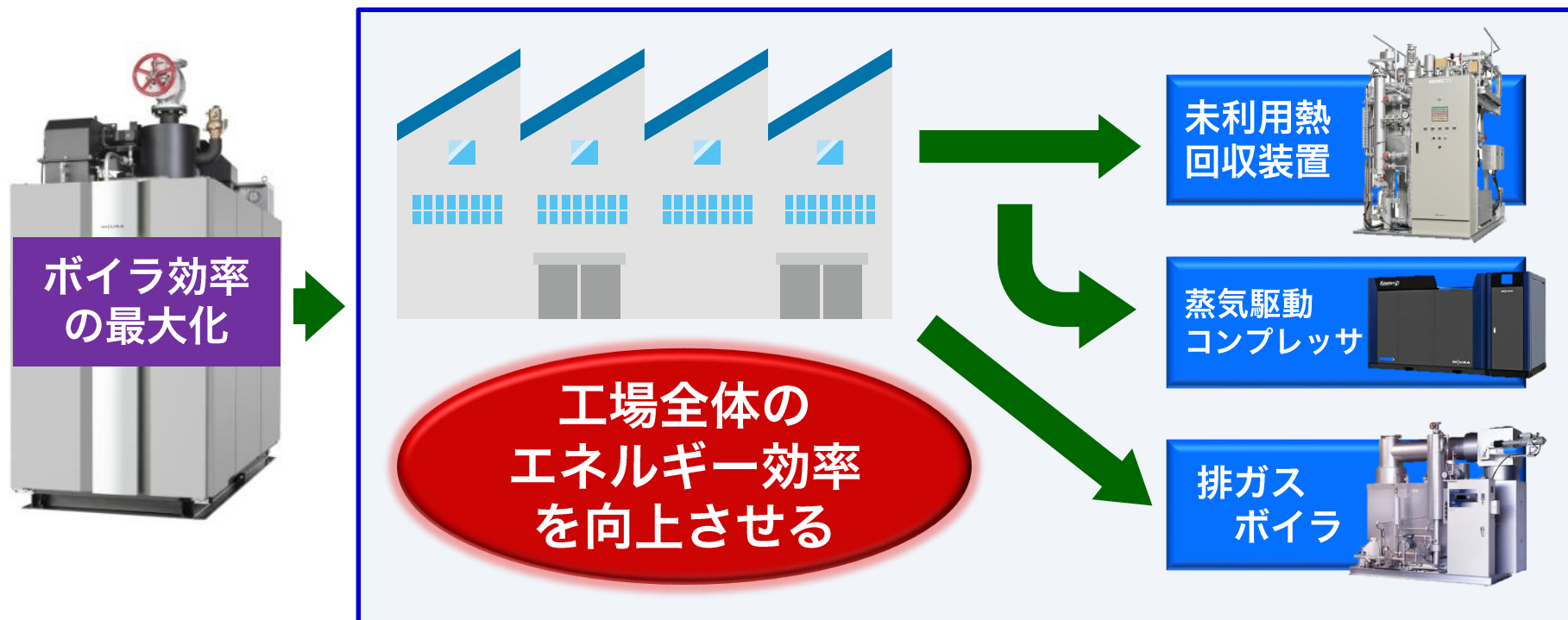
(株)日本サーモエナー
(株)サムソン

(株)IHI汎用ボイラ
川重冷熱工業(株)

(株)ヒラカワ
(株)よしみね

(注) 貫流ボイラのシェアは、当社の独自調査に基づくものであり、実際の値とは異なる可能性があります。

成熟しつつある国内市場で何を提案していくか？



ボイラ外商品

水処理装置



食品機器



医療用機器



ランドリー



船用機器

船用ボイラ

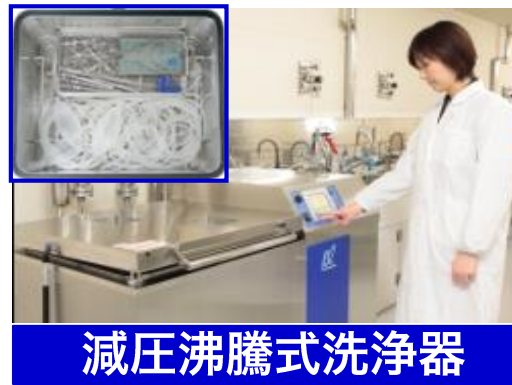


バラスト水処理装置



愛媛県立中央病院 様

～ B C P (Business continuity planning) を考慮した緊急事態への備え～



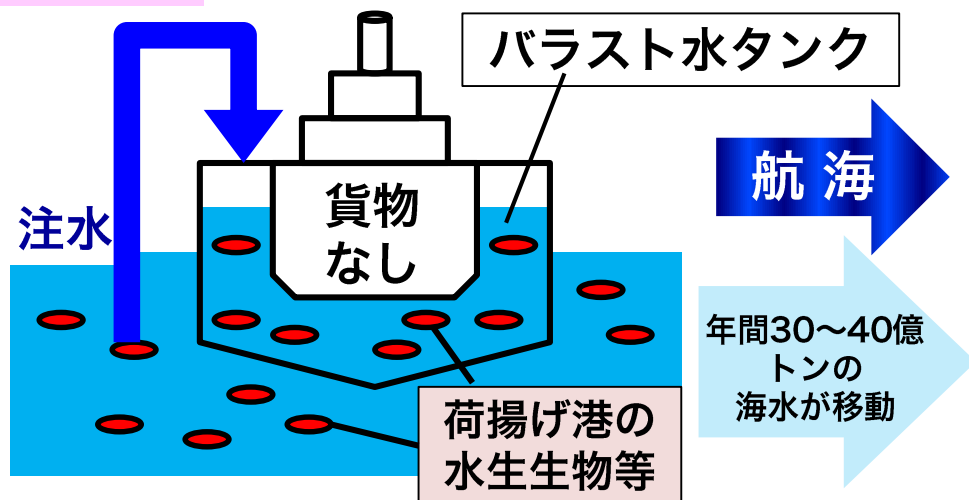
食品工場における食品機器トータルソリューション



バラスト水問題 「新しい市場の誕生」

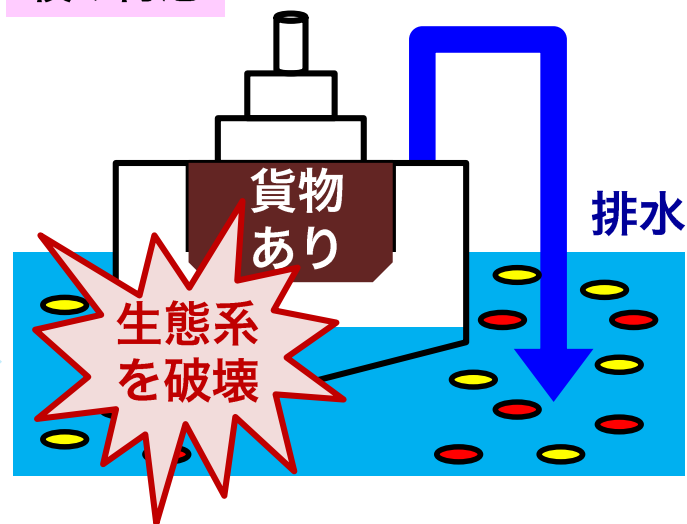
バラスト水とは
荷物を積んでいない船を安定させるために、船内のタンクへ取り込まれる水

荷揚げ港



積み荷港

国土交通省発行資料より



「荷揚げ港」から
「積み荷港」への
水生生物等
の移動

生態系破壊
の
環境問題

バラスト水管理条約 (2004年採択)
→バラスト水処理処置の搭載 義務化

2017年9月 義務化

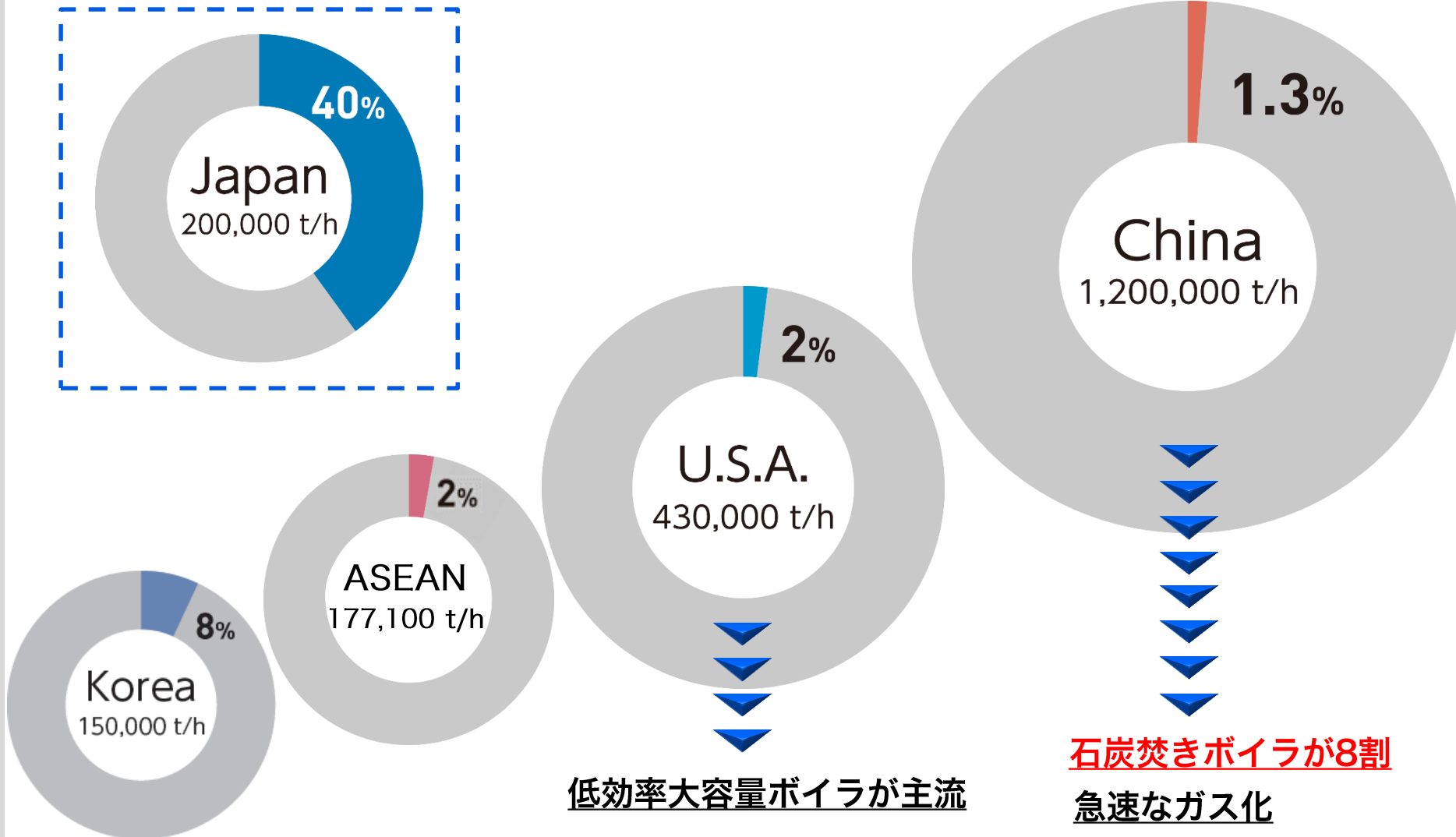
2019年9月 義務化

新造船

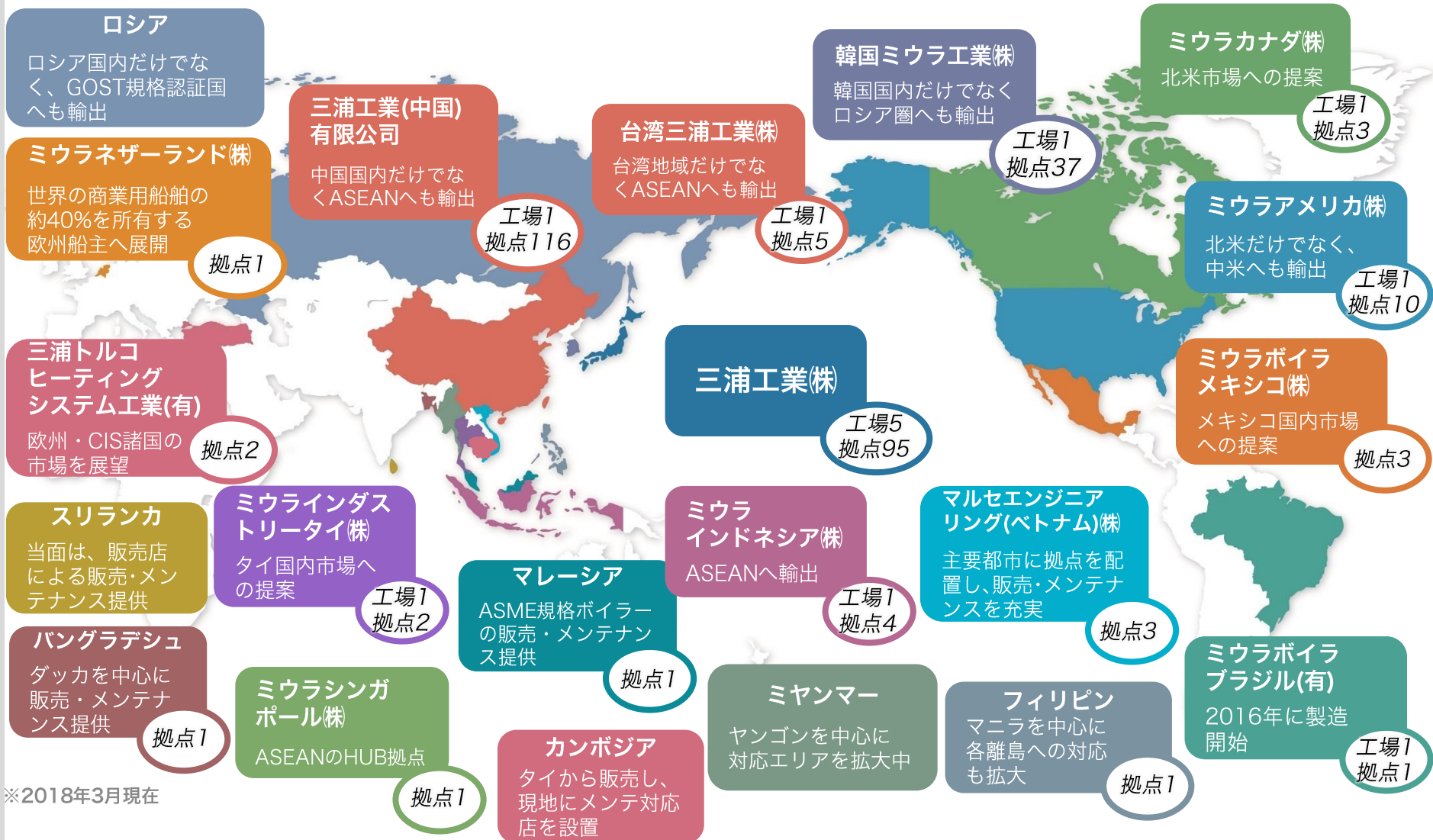
就航船

ボイラ市場（ミウラの市場占有率）

*蒸発量ベース・2018年3月自社調べ



ミウラのネットワーク



※2018年3月現在

ご清聴ありがとうございました

熱・水・環境のベストパートナー

The logo for MIURA, featuring the word "MIURA" in a bold, blue, sans-serif font. The letter "i" is lowercase and has a blue dot above it and a blue dot below it, making it look like a vertical line with two dots.

問い合わせ先

三浦工業株式会社 経営企画室

TEL 089-979-7045

FAX 089-979-7011

URL <http://www.miuraz.co.jp>